

企画シンポジウム

広島にまなぶ「伝承者を育てる」

被爆体験伝承講話

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 「被爆体験伝承者等派遣事業」

本事業は、被爆者から直接受け継いだ体験を語り継ぐ被爆体験伝承者が全国に無料で派遣する被爆体験伝承者等派遣事業です。

以前は、申込者が負担していた派遣に係る謝礼金、旅費を国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が負担することで、国内外への派遣を推進し、被爆の実相を広く日本全国、諸外国に伝えることを目的とするものです。

本シンポジウムでは、被爆者から直接受け継いだ被爆体験伝承者である戸野弘幸氏が被爆体験の講話を行います。

登壇者プロフィール

菅原 定志

気仙沼市立階上中学校にて、地域・大学と連携して、中学生が行う避難行動調査・聞き書きを行い、その発信を行う防災教育を実施。これらの取り組みは、多数の受賞や社会から高い関心を集めている。

吉田 美穂

宮城県庁では、東日本大震災での対応を経験した職員1200名から「語り」を聞き取り、対応過程で得た職員の経験・教訓を整理・体系化し、継承・人材育成する事業を実施。現職担当の職員も同席し、若手への継承が行われている。

三浦 美咲

南三陸町歌津出身。震災当時、足小6年生で在校中に被災・避難を経験。宮城教育大学ゼミの中で、当時の避難行動を検証する取り組みを実施。

黒澤 健一

石巻市門脇地区に震災から約1カ月後、知人とともに「がんばろう！石巻」を設置。看板を地元中学生と更新したり、被災地で咲いた「ど根性ひまわり」の種を全国に広げる活動などの震災伝承活動を実施。

